## 1. 化学物質等及び会社情報

國晟工業股份有限公司
桃園市蘆竹區海湖北路 309 巷 151 號

電話番号　：　03-3541306～8
FAX 番号　：　03-3542518
E-MAIL　：　kcqc@gwo-chern.com.tw
緊急連絡先　：　同上
担当部門　：　品保課
担当者　：　黃聖鎮
修正日　：　2023/01/09

報告名称　：銅
化学物質等の名称「製品名」　：　SDS　　C1011、C1020、C1100

## 2. 危害有害性の要約

2-1.　ラベル要素：絵表示又はシンボル



2-2.　最重要危険有害性及び影響

2-2-1.健康に対する有害性：　情報なし。構成する各元素について、(有害性情報に記述)
2-2-2.環境に対す有害性：　構成する各元素について、(12 環境影響情報に記述)
2-2-3.物理的及び化学危険性：　構成する各元素について、(10 安定性及び反応に記述)
3-3.　特定の有害危険性：　情報なし。
3-4.　主要な徴候：　情報なし。
3-5.　化学物質等の分類：　情報なし。

（註一）米国 OSHA によって製品を機械加工、研磨して粉、塵埃等発生する場合は人体の眼、皮膚、呼吸に対し危険性がある。適切な保護具を着用すること。

## 3. 組成及び成分情報

3-1.　単一物質、混合物の区別：　混合物（合金）

| 3-2. 英語/中国語表現 | 化学名 | CAS 番号 | (含有量%) |
|---|---|---|---|
| Copper | Cu | 7440-50-8 | ≧99.9 |
| 3-3. 不純物英語/中国語表現 | 化学名 | CAS 番号 | (含有量 ppm) |
| Cadmium | Cd | 7440-43-9 | ≦75 |

## 4. 応急措置

4-1.　混合物（合金）としての情報はないが、構成元素単体の情報を参考として記述する。

4-1-1.眼に入った場合：　水で 15 分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

4-1-2.皮膚に付着した場合：　直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと又は取り去ること。
皮膚刺激がある場合は医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

4-1-3.吸入した場合：　被害者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿態で休息さ

せること。気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。

4-1-4.飲み込んだ場合：　医者の診断、手当てを受けること。

4-2. 予想される急性症状及び遅発性症状：　眼．皮膚の発赤、眼の痛み、咳、頭痛、息切れ、咽頭痛、腹痛、吐き気、嘔吐。　遅発性症状：金属熱。

4-3. 応急措置をする者の保護：　救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

4-4. 医師に対する特別注意事項：　安静と医学的経過観察が不可欠。

（註一）OSHA：　OccupationalSafetyandHealthAdministration

## 5. 火災時の処置

5-1. 消火剤：　不可燃、適用せず。

5-2. 特有の危険有害性：　不可燃、適用せず。

5-3. 特有の消火方法：　不可燃、適用せず。

5-4. 消火を行う者の保護：　不可燃、適用せず。

## 6. 漏出時の処置

6-1. 人体に対する注意事項：　固体のため、適用せず。

6-2. 環境に関する注意事項：　固体のため、適用せず。

6-3. 回収、中和、廃棄、除去方法、二次災害の防止策：　固体のため、適用せず。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

7-1. **取り扱い**

7-1-1.端部で手を切る危険性があるので、素手で触れない。

7-1-2.切削及び研削時は、切粉が眼に入らないようにし、また、吸引しない。

7-1-3.重量物なので落下すると危険であり、取扱いには十分注意する。

7-1-4.スプリング性が有るため、端末の跳ねによる切傷、眼のけがに注意する。

7-2. **保管**

7-2-1.保管場は平坦な場所とし、不安定な段積みは荷崩れの原因となるので注意する。

7-2-2.酸、アルカリ、強力な酸化剤、塩化物等の化学物質と接触させない。

7-2-3.変色防止上、水濡れ等で製品を濡らすことは絶対に避け、湿気の多い場所には保管しない。

## 8. 暴露防止及び保護措置

8-1. 管理濃度：　設定されていない。

8-2. 許容濃度：　銅 0.05mg/$m^3$

鉛 1mg/$m^3$

8-3. 設備対策：　気中濃度を推奨された管理濃度以下に保つため、工程密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。

8-4. 保護具

8-4-1.呼吸器の保護具：　適切な呼吸器保護具を着用すること。

8-4-2.眼の保護具：　適切な眼の保護具を着用すること。

8-4-3.手の保護具：　適切な保護具手袋を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 物理的形状、色など： | 金属光沢のある赤色物体 |
| 物理的状態： | 固体 |
| 臭い： | 無臭 |
| 融点： | 115℃ |
| 沸点： | 2630℃ |
| 引火点： | データなし |
| 比重　： | 8. 92 |
| 揮発レート： | データなし |

| | |
|---|---|
| 易燃性（固体、気体）： | データなし |
| オクタノール／水分配計数： | データなし |
| 溶媒に対する溶解性： | データなし |
| 自燃温度： | データなし |
| 分解温度： | データなし |
| 爆発特性： | 非爆発物 |
| 酸化特性： | データなし |
| 蒸気圧： | データなし |

## 10. 安定性及反應性

| | |
|---|---|
| 10-1. 安定性： | 湿った空気に暴露すると緑色になる。. |
| 10-2. 避けるべき条件： | 湿度、混触危険物質との接触。 |
| 10-3. 混触危険物質： | 酸化剤、塩化物等。 |
| 10-4. 危険有害性のある分解生成物： | データなし。 |

## 11. 毒性資料(包含人體的症狀及免疫學的情報)

混合物（合金）としての情報はないが、構成元素単体の情報を参考として記述する。

| | |
|---|---|
| 11-1. 急性毒性： | 銅粉末 LD50 径口ロマウス＞3500μg/kg<br>急性中毒の症状は、飲込むと吐き気、嘔吐及び脱力感を起こす。 |
| 11-2. 局所効果： | 情報なし。 |
| 11-3. 感作性： | 情報なし。 |
| 11-4. 慢性毒性（長期毒性）： | 銅の慢性中毒の症状発現は、肝臓及び腎臓の障害が見られる。 |
| 11-5. その他 | データなし。 |
| 11-5-1.皮膚腐食性： | データなし。 |
| 11-5-2.刺激性（皮膚、眼）： | 銅は稀に接触性皮膚炎を起こすことがある。 |

## 12. 環境影響情報

| | |
|---|---|
| 12-1. 生態毒性： | 水で銅濃度は 0.015~3.0mg/1 がある時、生物は毒性がある。 |
| 12-2. 水生環境急性有害性： | データなし。 |
| 12-3. 水生環境慢性有害性： | データなし。 |
| 12-4. 移動性： | データなし。 |
| 12-5. 生態蓄積性： | データなし。 |

## 13.廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
政府などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

## 14.輸送上の注意

| | |
|---|---|
| 14-1. 国際規則： | データなし。 |
| 14-2. 国連番号： | 合金にはデータなし，銅 Cu は（UNNO.）1325 |
| 14-3. 国内規則： | データなし。 |
| 14-4. 特別の安全対策： | 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 |

## 15.適用法令

15-1.　適用法令：　労働省安全衛生法、工程で粉塵がある場所は管理濃度以下に保つべき。

15-2.　国際法令：　註一

## 16.その他の情報

参考文献：

金属用語辞典（金属学会）
化学物質の危険、有害性便覧　中央災害防止協会（1992）
産業中毒便覧 増補版　（医歯葉出版社）
危険物質ハンドブック（丸善出版）
主要化学品 1000 種毒性データ特別レポート
岩波理科学辞典 第３版増補版　（岩波書店）
銅及び銅合金の基礎と工業技術　改訂版（日本伸銅協会）
STANDARDS HANDBOOK Part2-Alloy Data Elghth Edition 1985
(COPPER DEVELOPMENT ASSOCIATION)
SAX'S DANGEROUS PROPERTIES OF INDUSTRIAL MATERIALS
わかりやすい化学物質の危険有害性表示制度
（労働省安全衛生部化学物質調査課編）
JIS　ハンドブック　（日本規格協会）
金属　ハンドブック　（丸善株式会社）
発ガン性物質リスト及び感作性物質リスト
（（株）日本化学物質安全情報センター　1992）
LARC Monographs of the Evaluation of Carcinogenic

**このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何れ保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。**